

平成 27 年 4 月 10 日

## 平成 26 年度 地域貢献活動支援報告書

社会連携研究センター長 殿

所 属 人文学部  
氏 名 田中 綾乃

活動テーマ	津市における芸術文化振興活動の拠点と街づくり
実施期間	平成 26 年 7 月 1 日 ~ 平成 27 年 3 月 31 日
活動内容	<p>本活動は、本学と文化施設や劇場が互いに協力・連携しながら芸術文化を振興することで、津市の地域住民の文化度を高め、芸術文化が根づいた街づくりを目的とするものである。この芸術文化の振興は、大学での新しい教育づくり、人材育成、さらには文化豊かな生活、活力ある地域社会の実現に寄与するために必要な活動である。</p> <p>(1) 具体的な活動実施内容</p> <p>今年度は、本学が「文化庁大学を活用した文化芸術推進事業」に採択されたこともあり、その事業と並行しつつ、昨年度から開催している地域住民も気軽に芸術文化に触れることができるような実践的な活動を行った。</p> <p>具体的な活動内容としては、10月に劇団太陽族の主催で三重県出身の演出家・岩崎正裕氏を迎えて、演劇ワークショップを行った。参加者は本学の学生や教職員だけでなく、県内の教員や文化振興課からの参加もあった。また、同月、昨年度も好評だった落語家・桂吉坊師をお招きし、本学の重要文化財の三翠会館において「桂吉坊に聞く落語の想像力」を開催したところ、学生や教職員、また、多くの地域住民に参加いただいた。学長にも参加いただき、本学の趣ある場所で、地域住民にも開かれた文化的な催しを開催することで、総合大学の魅力を発信することができた。</p> <p>なお、文化庁事業の共催では、9月に「アートマネジメント人材育成講座」とシンポジウム「東海圏の劇場のゆくえ」、11月にリーディング公演、12月に劇団第七劇場「シンデレラ」の演劇公演を行った。また、12月には三重県文化会館との共催で「演劇大学 in 三重」を開催した。いずれも、本学の学生、教職員、そして、地域住民に多数、ご参加いただいた。</p> <p>(2) 地域への貢献（地域の発展・活性化への寄与, 広がり）</p>

昨年度からの継続事業ということもあり、今年度は充実した活動ができた。本活動のアンケート分析からは、地域住民にも周知がされていて、参加者も多く、芸術文化そのものへの関心だけでなく、芸術を用いた教育法やコミュニケーション、街づくりなど、関心の幅にも広がりがあることがわかった。地域住民からは、本活動のさらなる継続を望む声が多く、本活動を通して、芸術文化が人々に生きる力を与え、地域の発展を担う可能性があることを示すことができた。

### (3) 共同実施者との連携状況

昨年度に引き続き、三重県文化会館と NPO 法人パフォーミングアーツネットワークみえの多大なる協力を経て、大学、官、民間の連携で本活動に取り組むことができた。

### (4) 大学の教育・研究成果のかかわり

昨年度からスタートさせた本事業での芸術文化振興のための取り組みは、今年度の文化庁の「大学を活用した文化芸術推進事業」の本学の採択にも繋がっている。文化庁の事業では、プログラム開発が求められているが、本事業での取り組みを通して、教育の中でのアートの役割や街づくりとアートの関連性を実践的に呈示することができた。今後、理論的な構築を行うことで、大学教育の中でのアートの役割についてのプログラム開発を行っていく予定である。

### (5) イベント等開催実績（名称，実施場所，参加人数等）

- ・「地域の舞台芸術振興のための特色あるアートマネジメント人材育成講座」@三重大学 人文学部校舎 2014年9月8日～11日、参加者延べ143名
- ・シンポジウム「東海圏における劇場のゆくえ」@三重大学 総合研究棟 II メディアホール 2014年9月26日、参加者55名
- ・「演劇のつくりかたの手法を用いたコミュニケーションワークショップ」@三重大学 総合研究棟 II メディアホール 2014年10月23日、参加者14名
- ・「桂吉坊に聞く落語の想像力」@三重大学 三翠会館 2014年10月24日、参加者77名
- ・リーディング公演「組みひもの里」「いなずま」@三重大学 三翠会館 2014年11月7日、参加者45名
- ・演劇大学 in 三重 @三重大学小ホール、2014年12月5日、参加者30名
- ・シアター公演 劇団第七劇場「シンデレラ」@三重大学講堂ホワイエ 2014年12月5日、参加者130名

(6) これまでの取組みによって得られた具体的な成果について

津市において芸術文化が根づくため大学と三重県文化会館、さらに民間のNPOと連携をとりながら、ワークショップ、リーディング公演（落語を含む）、シンポジウム、シアター公演など様々な活動を行ってきた。大学を主な活動場所とすることによって、大学という空間が学際的な場であるだけでなく、文化的、創造的な場であることを発信することができたことは大きな成果であった。

また、昨年度から本学で継続している上方落語の桂吉坊師による落語会と講演は、本事業によって初めて三重県に招聘した噺家であるが、吉坊師の落語に初めて触れた地域住民たちが落語のファンとなり、学外でも落語会を開催するようになったのは、地域住民の文化への関心を高めるひとつの契機になったと考えている。

芸術文化が街に根づくには、時間と労力を要するが、大学という場が芸術文化の豊かさを積極的に発信するような活動と種蒔きを地道に続けていくことが、将来の津市の文化度を高めることに繋がるのではないかと考えている。そのためには、県や民間団体の協力が不可欠であり、今後も大学と県、民間がタッグを組んで、事業を行っていく地盤作りができたことは大きな成果である。

#### 【新聞記事】

- ・平成26年10月23日付 伊勢新聞に桂吉坊氏の寄席に関する記事が掲載される。
- ・平成26年11月05日付 読売新聞にリーディング公演に関する記事が掲載される。
- ・平成26年12月04日付 読売新聞に第七劇場の公演に関する記事が掲載される。

# 演劇のつくりかたの手法を使った コミュニケーション のワークショップ

受講者募集

演劇といっても、台本を書いたり、台詞を覚えたり、発声練習をしたりするわけではありません。  
演劇のつくりかたを体系化した遊びを体験してみるコミュニケーションのワークショップです。

- 演劇のつくりかたは、実演だけでなく、人から受けてもらうという作りかたです。実演に限り、おもしろい（＝価値ある）ものをつくる感覚でもっとも同じです。つまり、おもしろい人から学びを得て演劇し、演劇からおもしろいものを自分自身に作りだすのです。
- 自分で書いてみる、演じる人も、見る人も、同じ感覚で、お互いに学びあいます。1回参加したら、自分自身で考えてみる、自分自身で演じる、自分自身で見るという体験ができます。
- 演劇は「遊び」です。だから、ふざけた言い回し、無駄な動き、おもしろい人から受けてもらうという「演劇」を通じて、おもしろい人から受けてもらうという体験ができます。だから、「演劇」を通じて、おもしろい人から受けてもらうという体験ができます。

◎ 日程 10/23(木) 13:00~16:00

◎ 場所 メディアホール  
(三重大学 総合研究棟II)

◎ ワークショップの内容について  
ゲーム感覚です。人に伝えたり、人から受けてもらうゲームです。体を動かします。動きやすい格好で来てくださいます。もしも、ふざけた座学もありません。筆記用具は持ってきてください。詳細は来てくれた皆さんの様子を見て講師が考えますので、当日まで未定です。

◎ 申込  
受講は無料ですが、事前申し込みが必要です  
【申込先】 E-mail: pap-office@human.mie-u.ac.jp  
【申込方法】 件名を「コミュニケーションワークショップ申込」とし  
①名前 ②学年 ③学年 ④学籍番号 ⑤明記してください。  
【申込〆切】 10/16日(木)

◎ 対象  
三重大生ならどなたでも参加できますが、特に以下のより方にオススメです。  
・就職活動中、就職活動を控えている方  
・教員に就く、教育実習を控えている方  
・人と関わりが得意な方、得意な方  
・何でも真摯に楽しめる方  
もちろん、演劇に興味のある方も参加が歓迎です。

◎ 講師  
岩崎正樹 (いばさき まさ樹)  
劇作家・演出家、劇団太陽旗主宰。  
1963年三重県鈴鹿市生まれ。  
1982年大阪芸術大学在学中に劇団太陽旗の前身「劇団太陽旗」を結成。1997年「こころの道」で第4回NHK劇団賞を受賞。全国各地で戯曲講座・演劇ワークショップ講師を務め、2008年伊丹町立演劇部・AM・HALLのアドバイザー、大阪芸術大学助産学講師。



◎ 問合せ 三重大学メディアホール事務局 TEL: 056-231-9180  
◎ 主催 三重大学 / 三重県文化会館(協賛) 三重県立美術館(協賛) 三重県立図書館(協賛) ◎ 協賛 (一財)地域創造

## 2014年度 三重大学地域貢献事業

三重大学では上方落語の桂吉坊師匠を迎えて、人文学部の特別講座を開催いたします。昨年以來、好評のこの講座、今年は登録有形文化財に指定されている三翠会館で行います。秋の午後、近代建築の趣ある空間の中で、上方落語をお楽しみください。地域貢献事業として、地域の皆様にもご参加いただけます。

# 桂吉坊に聞く 落語の想像力

人文学部  
特別講座  
入場無料

日時 / 2014年10月24日(金) 14:40~16:10  
場所 / 三重大学 三翠会館 ※三翠ホールではありません。



出演 / 桂 吉坊(落語家) 吉丸雄哉(三重大学人文学部准教授)  
コーディネーター / 田中綾乃(三重大学人文学部准教授)

学外の方は、メールでお申し込みください。  
申し込み問い合わせ先 yoshimaru@human.mie-u.ac.jp 三重県津市栗真町1577 三重大学人文学部(吉丸)

平成26年度 文化庁「大学を活用した文化芸術推進事業」  
舞台芸術振興のためのアートマネジメント人材育成講座 実践編 第1弾



## 三重大学内リーディング公演

三重大学は今年度、文化庁「大学を活用した文化芸術推進事業」の助成を受け、9月に「舞台芸術振興のためのアートマネジメント人材育成講座」を開催しました。本公演は、講座でアートマネジメントを学んだ受講生がより実践的な公演制作を学ぶため、上演内容の決定、広報や運営に携わる公演です。今回は実践編第1弾として、リーディング公演を行います。

リーディングとは？  
戯曲や文学作品を俳優の身体を通じて読むというリーディングです。本や台本を手にして公演を行います。原稿とも似ていますが、原稿よりも動きがあったり、演出効果もあります。「読む」という行為をモチーフにした演劇といえるのかも知れません。(※津あけぼの座ホームページから引用)



日時: 2014年11月7日(金) 18:00 開演  
(開演は開演30分前、上演時間は30分です)

場所: 三重大学・三翠会館 ※三翠ホール・劇場はございません。(三重県津市栗真町1577 三重大学内)

料金: 入場無料

上演作品: いなずま / 中根章子 組ひもの里 / 石川ひろ子  
「三重の童話(県別ふるさと童話館)」より

演出: 鳴海康平 (津あけぼの座 芸術監督 / 第七劇場)

出演:

		
稲垣陽介 (生物資源学部1年)	宇佐美有沙 (人文学部1年)	村田拓郎 (工学部1年)

古風に生きようとしなくても、古風になれる。話題の噺家、桂吉坊。

桂吉坊

1981年、兵庫県西宮市出身。1999年、桂吉坊に入門。翌年、北米領南加州で落語修行。2003年、内弟子を卒業。以後、古落語を中心に活動を重ねながら、東京や大阪で「落語/会」などの精神的な落語会を開催。その間、舞台・映画などで活躍の場を広げている。著書に「桂吉坊が語る」(文芸春秋)。





三重大学は本年度、文化庁「大学を活用した文化芸術推進事業」の助成を受け、9月に「舞台芸術振興のためのアートマネジメント人材育成講座」を開講しました。本公演は、講座でアートマネジメントを学んだ受講生が、より実践的な公演制作を学ぶため、広報や運営に携わるシアター公演です。



第七劇場

dainanagekijo.org

三重大学公演

# Cinderella

シンデレラ

日時

2014年 **12月5日(金)** 18:30開演 (18:00開場)

場所 **三重大学講堂・三翠ホール ホワイエ**

(〒514-8507 三重県津市栗真町屋町 1577 三重大学内)

料金

**学生・大学関係者 無料**

**学外者 1,000円**

事前のお申込みが便利です (詳しくは裏面をご覧ください)

当日観覧も可能ですが、見切れ席・立ち見になる場合がございます。

小さな大人と、  
大きな大人のための  
誰も見たことのない、  
シンデレラ

出演

佐直由佳子 木母千尋 山田裕子 小菅紘史 菊原真結 伊吹卓光  
米谷よう子 穴戸香那恵 / 川田章子 田中みな 辻村瑛子 諸星敦士

演出・美術：鳴海康平 (津あけぼの座 芸術監督 / 第七劇場)

構成：油田晃 (劇団 Hi!Position!!)

劇中歌作曲・編曲：浅井暁子





## わたしの人生はわたしが決める

世界でもっとも広く読まれている童話のひとつ「シンデレラ」。

有名なグリム童話のほかにも、中国やアフリカなど世界中によく似た昔話があるという実は不思議なお話。

これらのさまざまなバージョンのシンデレラを、津市在住の劇作家・演出家 油田晃氏が構成し、

オーディションによって選ばれた三重県と近隣地域在住の俳優とともに舞台化。

第七劇場の津市美里町への拠点移設後初の新作が、三重大学にやってきます。

照明：島田雄峰 (Lighting Staff Ten-Holes) 音響：平岡希樹

演出助手：竹内康介 (劇団ごっこ)



## Profile

### 第七劇場

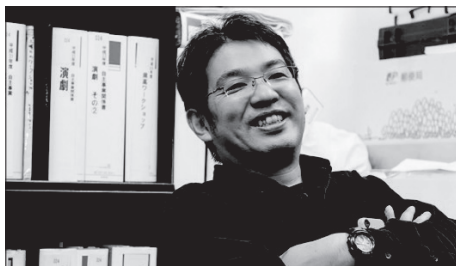
Dainanagekijo (津市美里町三郷2104)

1999年、演出家・鳴海康平を中心に創設。国境を越えることができるクリエイションをポリシーに、これまで国内15都市、海外3ヶ国5都市(韓国・ドイツ・フランス)で作品を上演。2006年より東京都豊島区にatelier SENTIOを構え拠点とし、2014年より三重県津市美里町に拠点を移設しThéâtre de Bellevilleのレジデントカンパニーとなる。



演出・美術 **鳴海康平** Narumi Kouhei

津あけぼの座芸術監督、第七劇場主宰、演出家。1979年北海道紋別市生まれ。早稲田大学在籍中に劇団を設立。ストーリーや言葉だけに頼らず、洗練された舞台美術や俳優の存在感とともに「風景」によるドラマを築く独特の舞台空間が海外で高く評価される。ポーラ美術振興財団在外研修員として2012年から1年間フランスに渡り、2013年、日本とフランスの俳優との国際協働作品『三人姉妹』を新国立劇場にて上演。



構成 **油田 晃** Yuda Akira

劇作家・演出家。津あけぼの座・津あけぼの座スクエアプログラムディレクター、特定非営利活動法人パフォーミングアーツネットワークみえ代表理事。1973年三重県松阪市生まれ。三重大学在学中より演劇活動をはじめ、多くの脚本を執筆。2008年に津あけぼの座専属となる劇団 Hi!Position!! を結成。三重だけでなく様々な地域で公演を行っている。ワークショップデザイナー (大阪大学第1期) 日本劇作家協会会員 日本演出者協会会員

撮影：松原豊



劇中歌作曲・編曲 **浅井暁子** Asai Akiko

静岡県浜松市出身。高校時代にコンテンポラリーダンス作品と出会い、舞台や映像空間における音楽に興味をもつ。大学院生時代に書いた能オペラ「N-opera Macbeth」は、ニューヨーク、ロンドンで好評を得た他、Composer Group Cue メンバーとして多様なジャンルのアーティストと作品を手がける。東京藝術大学音楽学部作曲科卒業。ニューヨーク大学大学院修士課程首席修了。現在、金沢大学人間社会研究域准教授。

## Information

### お申込方法

鑑賞ご希望の方は、以下の情報を記載したメールを、事務局メールアドレスにお送りください。

件名：「シンデレラ三重大学公演鑑賞申込」

本文：① 氏名(ふりがな) ② 所属 ③ 携帯電話番号 ④ 申込人数

申込締切：12月1日(月)

当日直接お越しいただいてもご覧になれますが、立ち見・見切れ席のご案内となる場合がございます。

### 三重大学公演に関するお問い合わせ・お申込み

#### 三重パフォーミングアーツ発信プロジェクト事務局

TEL：059-231-9180

(平日 10:00~17:00、時間外は 059-222-1101 [津あけぼの座]へおかけください)

Email：pap-office@human.mie-u.ac.jp

HP：http://www.human.mie-u.ac.jp/chiiki/performing/

主催：三重大学 共催：公益財団法人三重県文化振興事業団 三重県文化会館、三重大学地域貢献事業

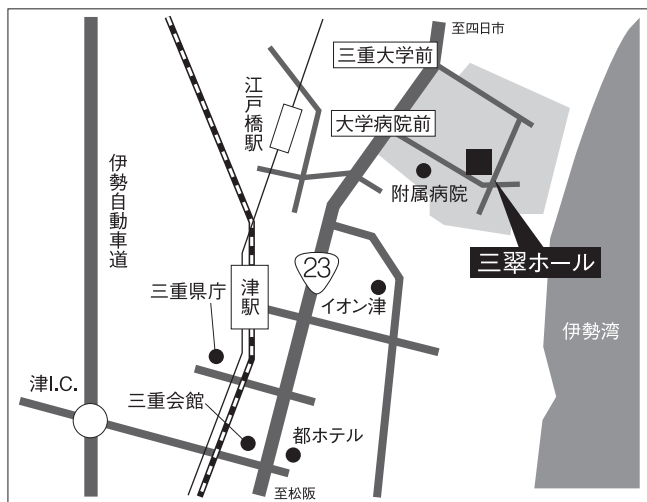
協力：特定非営利活動法人パフォーミングアーツネットワークみえ、(有)現場サイド

### 三重大学へのアクセス

近鉄江戸橋駅から徒歩15分、津駅からタクシーで10分。

津駅東口バスのりば「4番」からバスで15分、「大学病院前」下車。

アクセスマップ(学内の詳しい地図は三重大学ホームページをご覧ください)



所在地：〒514-8507 三重県津市栗貫町屋町 1577